

# 運転代行／フロント

ハロウクマ

⑨

と随伴車による白タク行為排除に汗を流す。目指すは沖縄を代行適正化のトップ県にする(と)。

2000年に開業。随伴車4台、従業員は8人。接客は身なりを重視し、沖縄の空をイメージした青色のユニホームに、下はストラップで決めている。

今年になって行政が白タク撲滅に動き出し、新崎代表の活動に追い風となっている。沖縄総合事務局の呼びかけで警察、県、ハイヤー・タクシー業界、運転代行業界が集まり、白タク防止キャンペーンに乗り出した。7月以降、会合を重ねており、新崎代表は「行政とのパイプができた」と意義を強調する。

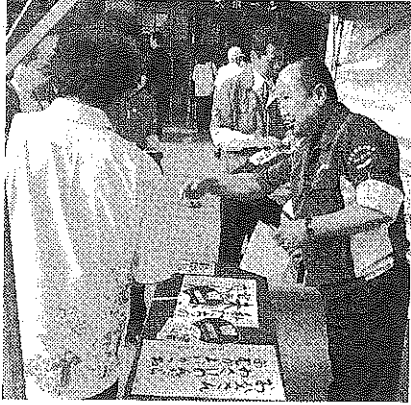
運転代行認定事業者数が約800社、全国最多の沖縄。新規(沖縄市)の新崎勝吉代表だ。参入の増加とともに悪質な営業も目に余る中、事業健全化に熱心に取り組むのは新崎運転代行(沖縄市)の新崎勝吉代表だ。全国運転代行協会の理事・沖縄支部長を務め、飲酒運転の根絶

今年になって行政が白タク撲滅に動き出し、新崎代表の活動に追い風となっている。沖縄総合事務局の呼びかけで警察、県、ハイヤー・タクシー業界、運転代行業界が集まり、白タク防止キャンペーンに乗り出した。7月以降、会合を重ねており、新崎代表は「行政とのパイプができた」と意義を強調する。

## 白タク撲滅活動に精力

### 「沖縄を適正化トップ県に」

沖縄の飲酒運転根絶県民大会会場に参加者に運転代行をPRする新崎代表(右)



新崎運転代行(沖縄県沖縄市)

代行料金は、採算ラインという3、4千1000円を10年以上維持。1千2000円の低価格事業者は淘汰され始めているようだ。一方でA・B間輸送が課題。地元ではサービスの一環で白タクが行われ、違法行為への意識が薄いという。

白タク行為の排除には事業者だけでなく、利用者にも啓発が必要。「随伴車両には客は乗れ

「飲酒運転で悪い部分が目立つだけに、運転代行に関しては沖縄が47都道府県で一番良い県にしたい」と、業界適正化に意欲を燃やす。